

わだちの轍

Vol 16

轍【わだち】

車が通ったあとに残る輪の跡という意味から、「先人たちが築いてきたものを大切にしながら、未来へとつないでいく」という思いを込めてつけました。

カテゴリーの見方

- Topics / 最新の出来事
- People / 障害者の暮らしぶりを紹介
- Work / 福祉で頑張る人たち
- Art / 障害者の光る感性
- Message / 支援者からのメッセージ
- Report / 取り組み報告

発行：社会福祉法人 高知県知的障害者育成会 〒780-0028 高知県南国市陣山字弥市 531-1 TEL088-855-3717 FAX088-855-6181
発行責任者：秋友英稔(社会福祉法人 高知県知的障害者育成会) 編集責任者：濱田明(社会福祉法人 高知県知的障害者育成会)
印刷：川北印刷株式会社



「刺繍のカーニバル」安藤 充洋



「やらないかん」

祝 畠中繁昌さん 厚生労働大臣表彰受賞 勤続35年

9月15日、畠中繁昌さんが、高知県庁で行われた令和2年度高知県障害者雇用優良事業所等表彰式典において厚生労働大臣表彰(優秀勤労障害者表彰)を受賞されました。畠中さんに受賞の喜びの声と35年間の長きに渡って勤務されているその秘訣をお聞きました。



身頃プレス作業

●受賞について

Q. 受賞おめでとうございます。あらためて、今回の受賞をどのように感じていますか。

A. 実感はないけれど、こんなにすごい賞とは思わなかった。

Q. 誰かに知らせましたか。

A. 特に知らせてない。ただ会社の人々がすごく喜んでくれた。

●仕事について

Q. 今の仕事を教えて下さい。

A. ワイシャツの身頃のプレスをしよう。

Q. 仕事で楽しい事や逆に嫌な事はありますか。

A. 給料を貰った時、よう働いたと思う。楽しいとか嬉しいとか考えたら仕事はできん。そりゃいやな事もあるけれど、理由は言えんけれど…笑い

Q. 長く仕事を続けられるコツは何ですか。

A. 他の人はどうかかわらんけれど、気持ちが大事。「やらないかん」といつも思っている。とにかく「休まれん」と思う。

Q. 畠中さんにとって「働く」とは何ですか。

A. 生活のため。他はわからん。



記念品(左上)と笑顔の畠中さん(右上)



畠中 繁昌(はたなか しげまさ)さん

- ・土佐清水市出身 53歳。
 - ・中村養護学校高等部(現在の中村特別支援学校)卒業後中村ソーイング入職。
 - ・通勤寮グループホームを経て現在アパートで単身生活を送る。
- 〈中村ソーイング株式会社〉
(岡崎福夫社長・昭和52年創業・従業員84名)
四万十市にある縫製工場。年間19万着のワイシャツ・ユニホームを製造し早くから障害者雇用に取り組む。

●生活について

Q. お休みの日はどう過ごされていますか。

A. 兄(福祉工場勤務)と買物や料理をしよう。

Q. 趣味や好きな事は何かですか。

A. ガンプラが趣味で100以上あるけれど、最近忙しくて作れん。好きな旅行もコロナで行けん。

Q. 困っている事や不安な事はありますか。

A. 無い。お金の手続きや書類に関する事で「ラポール」の支援も受けよう。

Q. 将来の夢は何ですか。

A. プライベートでは特に無いけれど、働けるいっぱい働きたい。仕事ができるなら他の事は望まん…

畠中さんには時に幡多弁を交えて答えていただきました。—どうもありがとうございました。—

岡崎社長に本人の事を伺うと「とにかく真面目。休まない。仕事への意識が高く、(会社には)なくてはならない存在」とのお褒めの言葉をいただきました。また、おばちゃん達からは「繁ちゃん、繁ちゃん」と可愛がられ、カレー等食事の差入れがあるというようなほのぼのとしたエピソードもありました。

訪問インタビュー中、質問にぼくとつと答える繁昌さんの横で、笑顔で話す社長。この関係性こそが、畠中繁昌さんが長く勤められる秘訣の一端ではないかと感じました。本当におめでとうございます。

障害者就業・生活支援センター「ラポール」上岡 敬・増田 幸一

＜障害者雇用優良事業所等表彰について＞

障害者の雇用と職業の安定を図る為、障害者を積極的に多数雇用した事業所、長年に渡り障害者の雇用の促進と職業の安定に貢献した団体又は個人、模範的職業人として長期勤続している優秀勤労障害者に対して、独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構より厚生労働大臣表彰及び高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰を行う。今年度は全国から17名の受賞者があり高知県からは畠中繁昌さんが唯一の表彰者となった。



ボルトはじめました



●強みを活かせる作業の提供

これまで外注の作業(牛乳パック拭き、造花の組み立て、油パックの袋詰め、アルミ缶潰し、ウエスの裁断等)行ってきました。「同じ工程を反復して継続することが得意」や「手先が器用」といった強みがある方に適正な作業を提供することが出来ていませんでした。

今回、縁あってボルト部品の組み立て・袋詰め作業の話を取り、サンコー株式会社と年間契約を結び、作業を開始することになりました。

●作業への理解と工夫

部品にはボルト、ワッシャー、ナットがあります。

作業工程は、

- ①ボルトにワッシャーを入れる。
- ②ワッシャーを入れたボルトにナットを締める。
- ③組み立てたボルトを10本袋詰めする。

簡単そうですが、ナットの向き間違い、ワッシャーの入れ忘れなど、色々な問題が出てきました。

周囲が気になり集中力が続かない方には、安心して作業に集中できるようにパーテーションで作業スペースを確保。言葉での説明では理解が不十分の方には手順書や写真を用意。数が数えられない方には方眼紙に升目の線を引いたシートや必要な数のボルトの写真をトレーに貼り、そこにボルトを置くことが数の把握に繋がりました。状況に応じて改善していくことで徐々にミスが減り正確な作業ができるようになりました。

●できた!から自信へ繋がる

開始当初は職員が付きっきりで40本しか組み立てできなかった方が、現在では一人で200本を組み立てるようになりました。少しずつ習熟していく姿を見ることが出来ます。また、ご本人達から「できました!」「次やるでー!」と前向きな言葉も聞かれ自信になっていると感じます。

一人ひとりの“できる”に“工夫”を積み重ね、さらに深めていけるように“できる”力を伸ばしていきたいと思えます。





Report

「したい!」「やりたい!」を応援



「ただいま〜」学校を終えて、子どもたちが帰ってきます。ウィッシュかがみのは、放課後や長期休暇時に、子どもたちが安心して過ごす居場所でありたい。「おかえり〜」と子どもたちを迎えます。

私たちは、「イヤ」「後でする」も含め、子どもの「したい!」「やりたい!」という気持ちを応援し、必要に応じて手立てを講じるようにしています。例えば玩具で遊びたい場合、言葉で伝えることが難しい子どもは、写真カードを渡してきて、どの玩具で遊びたいか伝えてくれます。DVDを観たい子どもが複数名いた場合、タイムタイマーを使って順番を理解します。宿題をしないといけないのは分かっているけど今は遊びたい時は、時計に矢印をつけて、いつからするか職員と一緒に決めていきます。公園に行くか、室内で遊ぶか、写真カードを2枚見て、どちらかを選びます。

ある日、玩具のお金を持って、自動販売機に向かう子どもがいました。ジュースを買いたいその気持ちを大切に、買い物を活動に入れるようにしました。

中学校に入ったら、制服になるので、ボタン掛けができるように、その子が好きなミニカーを、ボタンのついた袋に入れるようにしました。

障害があってもなくても、人生の節目が訪れます。私たちは子どもの将来を描く中で、今できることは何だろうと日々試行錯誤を続けています。

平成24年に開設してから、多くの子どもたちが地域や成人の事業所へ巣立っていきました。学齢期に培った力や活用できる手立てを、次のステージにつなげていくことも役割になってきます。ご家族からは「お家でいる様子と変わらない」「子どもはウィッシュかがみが好き」というありがたい言葉をいただきます。これからも「ここにいると安心」「この人といると楽しい」と子どもたちに思ってもらえる居場所でありたいと思います。

「ウィッシュかがみ」 藤澤 公寛

ウィッシュかがみの 放課後等デイサービス

- 南国市陣山弥市 531 ●利用定員 / 10名 / 1日
- 営業日・月曜日〜金曜日 ●営業時間・8:30〜18:00
- TEL・088-855-6180 ●FAX・088-855-6181
- E-mail・wish_ka531@crest.ocn.ne.jp



Report

「3つの軸」を中心に



第2香南くろしお園では、芸西村・香美市に拠点を置き花卉園芸作業を中心にしています。大豊町にある「ゆとりすとパーク」の花壇・周辺整備、四国的高速道路パーキングエリアへの切り花出荷、憩ヶ丘運動公園の花壇整備作業などを請負っています。花苗はハウスで栽培管理を行い、地域住民の皆さまや、カッパ市、よどやドラッグ安芸駅前店への出荷・販売も行っています。

花苗については「障害のある方が生み出す力&製品」を融合させたオリジナルブランド"Table"を立ち上げPRを進め販売促進に繋げています。



事業所の支援方針としては、「作物を育てながら学ぶ」「仲間と協力する大切さを知る」「地域の中で働き貢献していく」という3点を軸としています。

花壇整備では、育てた花苗がきれいに彩っていけるように植栽、灌水、除草作業を協力して行っています。利用者さんは19歳から72歳まで在籍されていますが、若い利用者さんに対して経験豊富な利用者さんが教え役となり接している姿を見かけることも多くあります。仲間同士で協力することでお互いを認め高めあう場として存在しています。

花壇整備や清掃作業など、働くことは利用者さんと社会が交流できる機会であり、作業を通じて地域への貢献が果たして行けるよう創意工夫していきたいと考えています。そして、小さい作業所ならではのふれあいを通じた信頼関係を築きながら、日々試行錯誤の歩みを重ね、皆さんの「働きたい」という気持ちに応えていきます。

花苗のご相談、花壇の定植に関する事や土の搬入など何かありましたらお気軽にお問合せ下さい。少量の注文でも大歓迎です。

「第2香南くろしお園」 竹内 瑞樹

第2香南くろしお園

- 高知県安芸郡芸西村西分甲 1145
- 営業日・月〜金曜日 ●営業時間・9:00〜16:00
- TEL・0887-33-3670
- E-mail・dai2Konan@song.ocn.ne.jp



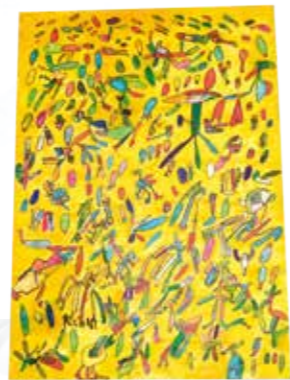
「刺繍のカーニバル」安藤充洋
独自の技法と色彩感覚から生まれた彼の世界



「空の牧場」公文大彰
雲の上で久しぶりに会った牛たちが、涙を流して喜んでいる様子を描きました。



「十二の物語」
支援センター南國



「宇宙生命図鑑」安松広幸



「将棋の「コマ」」
香南くろしお園



「思い出ー草原と海ー」松田美保



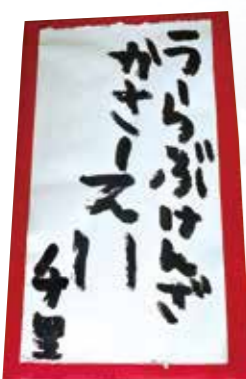
「夢見るイルカ」大平岳志



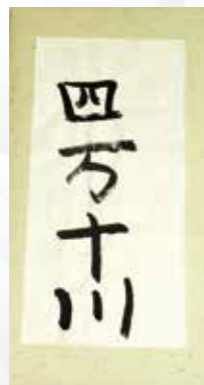
「みてみて！私の大応援バッグ」
宮田千代



「愛の木」清水安子



「よく効くおまじない」藤原千里



「四万十川」澤田荘吉



「ひとじぶの幸福」
ビューティー・ペアー



「バナナと梨」松岡昌美



「高知家にきてくれた人たち」ゆうちゃん



「私の散歩道」中屋幸恵



「いろいろな列車」田内直也



「私のまつげちゃん」依光椋子



「魚」沢井菊美



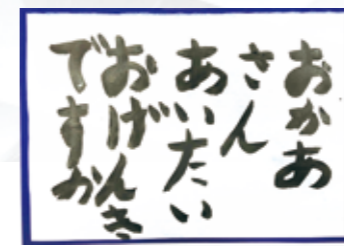
「きらっとかがやく花火」
公文大彰



「せんせい」小松範之



「百花繚乱」安井優子



「おかあさん」北岡岩男



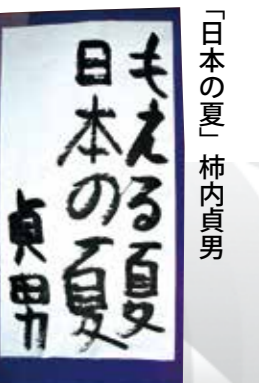
「エネオス」中島麻里



「昭和の家庭」宮川浩二



「すいか」トモコ



「日本の夏」柿内貞男

■第24回「スピリットアート」入賞・入選者一覧

- かがみの育成園 ●絵画/田内直也 安井優子 ●書道/柿内貞男 小野昭子 藤原千里
- パワーズ山田 ●絵画/浜田敏邦 松岡昌美 安松広幸 田中鈴子 宮田千代
松田美保 笹岡政代 賀門路子
- 工芸/安藤充洋 松岡昌美 矢野仁一 黒原清子 笹岡政代 山本広志
安岡加代子 上田泉 鍵山雪絵
- 写真/中屋幸恵 ●書道/小松悦子 浜田敏邦 西岡晃 澤田荘吉 崎山健次
- 立体/宮田千代 ビューティー・ペアー
- ウィッシュかがみの ●絵画/公文大彰 依光椋子 沢井菊美 ●書道/公文大彰 小松範之 トモコ
- ライフサポート「大津」●絵画/ゆうちゃん
- 支援センター南國 ●工芸/清水安子 大平岳志 ●立体/共同作品
- 多機能事業所「アオ」●絵画/宮川浩二 ●書道/北岡岩男
- 香南くろしお園 ●絵画/中島麻里 ●立体/共同作品



ご意見・ご感想

機関紙「わだち轍」に関するご意見・ご感想などございましたら、下記連絡先までお寄せください。いただいた貴重なご意見を今後の機関紙づくりの参考とさせていただきます。

社会福祉法人
高知県知的障害者育成会
TEL 088-855-3717
FAX 088-855-6181

Report

コロナにまけるな!! ~パワーズパワーで~



コロナ禍で行事が少なくなり、少し変化のない日々が続く中、誕生会は、みなさんの楽しみです。手作り誕生カードやプレゼント、くす玉割り、風船割りの仕掛けもありでワクワクドキドキ盛りだくさんです。

そして、なんと4月からは、もう一つ目玉コーナーを設けました。誕生月を迎えた方の良いところを事前に他の利用者さんや職員にインタビューをし、当日は、ホワイトボードにイラストつき文字を入れ「さて、これは、いったいどなたの事でしょう?」というクイズを取り入れました。効果がきめんで大盛りあがりのイベントとなりました。

その他、友の会(本人の会)が中心となり、楽しい企画を考えました。

第1弾 綿菓子づくり



日課である歩行中にある利用者さんから「みて、あの雲、綿菓子みたいやねえ。綿菓子が食べたいね!」と言ったことから綿菓子づくりをしようと計画しました。商工会より綿菓子機を無料でお借りできることとなり早速準備開始!綿菓子づくり体験を楽しみました。

初めての体験で職員と一緒に手を添えて作る中、腕や手に巻き付いてそのまま食べる方、最初は「いらん。体験せん。子供みたいな・・・。」と消極的な方がみんなの体験しているのを見て「やっぱりやってみたい!!」と楽しんだ方もいました。

その他、大発見!でコーヒーのカップの上に綿菓子のをせコーヒーにつかると一瞬で溶けて消えました。「わーっ!!すごい!」と驚き、Mr. マリックのマジックのような不思議な体験を他の方も楽しんでいました。

第2弾 かき氷大会



かき氷大会を実施しました。今年度の予定としては、2回でした。その中で、「また、食べたいねえ!」との要望に応え、3回目を実現!シロップ、フルーツ、練乳クリーム、あんこなどを自分で選び、トッピング!!自分で作ったかき氷の味は、最高のようでした。

第3弾 DVD鑑賞



DVD鑑賞で「バカ殿がみたい。」と利用者よりリクエストがありました。ポスターを作成し、友の会の会長よりアナウンスをし実施しました。

利用者さんの発信力は、あらゆるところで出てきます。それは、言葉であったり、表現であったり、行動であったり、一人ひとり違ってきます。その瞬間を支える仲間・職員といることで自己アピールできます。これからも友の会中心の楽しみがあるパワーズを目指していきます。

「パワーズ山田」 横田 優子